

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

弘豊議員

1 北摂で一番高い上下水道料金について

【質問1回目】

○弘豊議員 北摂で一番高い上下水道料金についてです。

私ども、日本共産党議員団で4月、5月に市民生活にかかわるアンケート調査を取り組みました。たくさんの方から回答が寄せられましたが、その結果から、摂津市に取り組んでほしいことの選択項目で一番多かったのが公共料金の負担軽減でした。自由記述の中にも、とりわけ高い上下水道料金を引き下げてほしいという意見が目立ちました。

今年度、市で決められる公共料金については引き上げを行っていませんが、政府の経済政策の中で物価は上がり、食料品やガス、電気料金と、相次ぐ値上げの中で市民生活は本当に大変になっています。家計の負担は増す中で、来年の消費税増税も行われようとしています。せめて、近隣市並みに上下水道料金が下がらないかと切実な要望となっています。

この間、福祉減免を廃止された対象の方、シフト事業にも当てはまらない当事者の方からのお話を何人かからお聞きしましたが、市民生活の実態から見て何かしらの改善がどうしても必要だと考えますが、市としてできること、これまで努力してきたこと、今後の見通しについて、お聞かせください。

【質問1回目への答弁】

○渡辺水道部長 上水道料金についてのご質問にお答えをいたします。

市民の皆様安心して安全な水を提供するために、水道料金は供給サービスの対価として料金を設定しており、適正なものと考えております。

現在、大阪府下の料金では、ほぼ中間に位置しており、市域の地形、水道施設の整備手法などの水道事業を取り巻く状況などを鑑みたコストから考えますと、決して高いもので

はないと考えております。

昨今の節水意識の高まりから、毎年、給水収益も下降する傾向に歯どめがかからない状況でございます。

将来にわたり、安定的に水道事業を運営、経営するためには、現有の資産や収益的収支で生じる利益について温存しなければならない状況でございます。

以上のことから、水道料金の引き下げについては、困難なものと考えております。

また、今年度におきましては、電気料金の値上げなどによる動力費用の上昇や公共工事設計労務単価の引き上げによる工事費や修繕費の上昇を招いております。

また、施設の耐震化、とりわけ配水管は施設更新が差し迫っており、今後の費用の増加が見込まれております。

このような状況下で、安心・安全な水を安定的に供給できるよう、努力しているところでございます。

○藤井土木下水道部長 下水道使用料についてのご質問にお答えいたします。

下水道事業におきましては、汚水処理に要する経費は下水道使用料で賄うという原則がございますが、本市におきましては、起債元利償還金の増加や節水などによる水需要の減少などから、使用料収入により汚水処理経費を賄えない状況が続いております。

このため、水洗化促進に向けた啓発活動や人件費、建設費の抑制など、経営健全化の取り組みを継続しておりますが、依然として経営状況は厳しく、引き続き一般会計繰入金による補填や資本費平準化債の発行が必要な状況でございます。

加えて、下水道施設の老朽化対策や地震対策が求められております。

少子高齢化の進行や人口減少に伴い、使用

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

弘豊議員

1 北摂で一番高い上下水道料金について

料収入の減収も予想される中、これらを着実に推進していくためにも、経営基盤の強化が必要な状況と考えているところでございます。

このような状況から、料金の引き下げや基本料金の引き下げにつながる最小水量の見直しは困難と考えております。

【質問2回目】

○弘豊議員 上下水道料金についてなんですけれども、市民生活の実態や実感から、やっぱりこれは引き下げるべきではないかというようなことで質問させていただきましたけれども、そういったことにかかわっては、ご答弁の中では触れられてなかったというふうに思っております。

今ほどの答弁の中でも、これまで何かしらの方法で下げることができないのか、そういう検討をしてきてないのかというふうなことについても、答弁の中では不十分だったように思っております。

もう一度、重ねてお聞きしておきたいと思えます。

それから、大阪広域水道企業団の中では、やはり厳しい企業会計の中であったとしても78円から75円へ3円、わずかではありますがすけれども値下げをしているというふうに聞き及んでいるんですけれども、こうしたものを、下がり幅、思ったよりも少ないなと思ってるんですけれども、それをわずかでもやはり市民に還元することができないのか、こうした点、もう一度、お答えいただきたいと思えます。

【質問2回目への答弁】

○渡辺水道部長 2回目の水道料金のご質問にご答弁申し上げます。

値下げについては考えておられなかったかというような内容であったかとは思いますが、

基本水量の8トンから6トンへということで、平成19年度に引き下げをさせていただいております。

基本水量と申し上げますのは、基本料金に含まれております。基本料金は1か月6立方メートルまでの水のご使用に対する対価というだけではなく、水をご使用にならない場合でも生じますメーター検針や料金収納に要する経費、水道施設の維持管理費などの固定的にかかる経費の一部を賄うための料金とさせていただいておりますので、そういう形の中で努力させていただき、8立方メートルから6立方メートルに下げさせていただいたという状況でございます。

それと、平成25年4月1日より、企業団の用水供給料金、これが3円の値下げが実施をされました。

第1回定例会の折にもご答弁をさせていただいておるんですが、本市では値下げによりまして約2,300万円のお金が浮いてまいりる状況でございました。

しかしながら、今年度の電気料金の値上げ等に伴います動力費の上昇負担、このあたりと更新費の原資という形でのお答えをさせていただいております。

繰り返しとなりますが、安定的な水道事業の運営、経営のためには、今後非常に多額の費用が必要となることを考えますと、基本料金などを引き下げることが困難であるというふうにご考慮いただいております。

よろしく願いいたします。

【質問3回目】

○弘豊議員 この水道料金の点では、やはりどういう努力がされてきたのか、このことがやっぱり市民の皆さんに示されないといけないうんじやないかというふうに思っています。水道企業団で実際に3円下がってるんだから、

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

弘豊議員

1 北摂で一番高い上下水道料金について

このことは還元されるように、強く、これを
要望しておきたいというふうに思っております。